



# さくら花

笑顔満開

さわやかさを伝える 角小

重点：4つのあ

- あいさつ ●あんぜん
- あい読書 ●あとしまつ

+「何かをまわりへ……  
こころをプレゼント」

R4. 1. 14 No.18

## 令和4年(壬寅)、始めました

新しい年が始まりました。今年もよろしくお願いたします。校門と職員玄関の間にある行事予定掲示板と、職員玄関には松竹梅を背景とした掲示をして、新年の香りを醸し出しています。



始まったばかりのところに恐縮ですが、令和4年の始まりは学校の暦では令和3

年度末。後期後半の登校予定日数は(1月)12日、(2月)18日、(3月)14日(6年生は11日)で、計44日(6年生は41日)です。令和3年度の登校予定日数は199日(1年生は197日、6年生は196日)ですので、後期後半の登校日は1年間の22%に当たります。冬休み明けは短い、あっという間に過ぎていくという印象がありましたが、実際に数字で確認すると本当に短いことを痛感します。

## 後期後半は準備の期間

そんな短い後期後半は、学校にとって準備に打ち込む期間だと考えています。小学校を挙げて準備したいのは次の二つです。

### ○ 会者定離……別れの準備を

「会う者は必ず別れる運命にあるということ」(明鏡国語辞典)を表す言葉です。

「出会い」は偶然だったり想定外だったりして、突然であることが少なくありません。だから、素敵な出会いを演出できないことも度々あります。しかし、別れていくことは必然なので、想定も予測もできます。だから、「別れ」の日に向かって、素敵な別れができるように演出することもできます。後期後半が終わるときは卒業と修了です。それは必ずある別れです。素敵な別れができるように、全力で準備を進めたいものです。素敵に別れていくために大切なことを各教室でも考えていきたいと思ひます。

### ○ 卒業・修了……手本への準備を

卒業……学校の全教科または学科の課程を修了すること。(大辞林)

修了……一定の学業・課程を全部おさめ終えること。(大辞林)

後期前半が始まる時、子どもたちにおねがいをいたしました。それは「6年生は(中略)リーダーの姿を5年生に見せて、5年生のお手本になるために力を使いましょう。5年生は4年生の、4年生は3年生の……お手本になるために力を使いましょう。後期は、来年のための準備をしてお手本になる、そのための時期にしましょう。」(さくら花No.12)

卒業・修了を前に、これから自分たちの後に続いてくる後輩のために、手本となるように努めてもらいたいと思っています。なかよく、かしく、たくましい姿をたくさんの人に示し、手本と言われるのにふさわしくなって、令和4年度を迎えたいものです。

## 松木内小学校運営委員会とのリモート交流、そして、Sembokucity ジュニア未来会議

12月22日(水)に運営委員会の皆さんが松木内小学校の皆さんと、リモート交流会を行いました。互いの学校の長所を生かした活動を紹介し合い、松木内小学校では掃除を縦割りで行っていると聞いて「いいなあ」、みんなで体力づくりにマラソンをしていると聞いて



校長室からリモート中継

「すげー」等の声が上がりました。学校にはその特徴によってできること・できないことがあり、そのまま角館小学校でもできるとはかぎらないけれども、角館小学校バージョンとしてできることを探す大切さを学んだ交流会でした。この経験を踏まえて、1月11日(火)仙北市役所西木庁舎での Sembokucity ジュニア未来会議(通称子どもサミット)に参加しました。登校時の町清掃活動等の報告をし、仙北市の未来に向けて自分たちができることを考え、大いに発表してきました。